



## 日本スポーツマスターズ 2019 ぎふ清流大会 空手道競技

日時：2019年9月14日～16日 場所：で愛ドーム、ふれ愛ドーム（岐阜県岐阜市）

### 全日本空手道連盟剛柔会関東地区本部所属入賞選手

男子組手1部 (40～44歳)



近年の優勝者が2部へ上がり、混戦となった男子1部。決勝へ進出したのは、地元岐阜の今壮志（岐阜）と竹川穰（東京）。マスターズ初出場の今は、地元応援団の声援を受け決勝進出。対する竹川は持ち前の瞬発力を活かし準決勝では片岡功（大阪）を下した。決勝は、フットワークを活かした竹川が突きを3本決めて勝利。一昨年の初出場から2回目での初優勝となった。「めっちゃ嬉しいです。スピードを活かした組手ができれば、勝てると思っていました」と笑顔の竹川。



男子形1部 (40～49歳)



男子1部は6回の優勝を誇るキング・桑子和也がこのクラス最年長となり、キングにクラスの若手が挑む構図となった。その桑子は準々決勝で宮國淳（神奈川）に敗退し世代交代の印象。決勝はその宮國と前回準優勝の関根寛和（東京）が勝ち上がった。パープルレン対決となった決勝は、力強さに勝った関根が4-1で勝利した。

